



## 「JSRグループ サステナビリティレポート2020」

### 第三者検証 意見書

2020年8月31日

JSR 株式会社

代表取締役 CEO エリック ジョンソン 殿

一般社団法人日本化学工業協会

レスポンシブル・ケア検証センター長

永松 茂樹



#### ■検証の目的

本検証は、JSR 株式会社で作成した「JSR グループ サステナビリティレポート 2020 (Web版)」(以後、報告書と略す)を対象として、下記の事項についてレスポンシブル・ケア検証センターが化学業界の専門家の意見を表明することを目的としています。

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
- 2) 数値以外の記載情報の正確性について
- 3) レスポンシブル・ケア活動(以後、RC 活動と略す)内容及び CSR 活動内容について
- 4) 報告書の特徴について

#### ■検証の手順

- ・ 本社において、各サイト(事業所、工場)から報告される数値の集計方法の合理性、及び数値以外の記載情報の正確性について調査を行いました。調査は、報告書の内容について各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、並びに各業務責任者及び報告書作成責任者より資料の提示・説明を受けることにより行いました。
- ・ 千葉工場において、本社に報告する数値の算出方法の合理性、数値の正確性、及び記載情報の正確性の調査を行いました。千葉工場の調査は、各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、資料の提示・説明を受けること、証拠物件と照合すること並びに現場を確認することにより行いました。
- ・ 数値及び記載情報の調査についてはサンプリング手法を適用しました。

#### ■意見

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
  - ・ 環境関係データの集計は、工場のデータ集計以降、本社での全社データとりまとめまで自動集計するシステムが構築され、人的ミスの入らない仕組みで運用されています。
  - ・ 温室効果ガス排出量の算出方法は、本社から計算式、使用する係数等を工場に指示されており、工場、グループ会社において同一基準での算出が行われています。
- 2) 記載情報の正確性について
  - ・ 報告書に記載された情報は、正確であることを確認しました。原案段階では表現の適切性あるいは文章の分かり易さに関し若干の指摘をしましたが、現報告書では修正されており現在修正すべき重要な事項は認められません。
- 3) RC 活動及び CSR 活動の内容について
  - ・ 企業の社会的責任を果たす CSR 活動から、さらに進化させて、すべてのステークホルダーに貢献する価値を創造するサステナビリティ活動が推進されていることを評価します。
  - ・ 社長が各事業所の本社環境安全監査に参加し、事業所の優れた活動を称賛し、改善すべき課題について意見を述べて、環境・安全活動の活性化を図っていることを評価します。また、工場従業員との対話の機会を設けて、「社長の想い」をフェイス ツウ フェイスで伝えるとともに、現場の声を聴いていることを評価します。
  - ・ 千葉工場ではドローンを使って高所の設備点検を強化し、仮想現実(VR)による危険性体感教育を実施するなど、先進技術を設備管理、保安防災、労働災害防止に活用する取り組みを評価します。
  - ・ 「温室効果ガス排出量(スコープ1、スコープ2)の定量化手順」の改訂版は、排出量について、合理的かつ正確な集計が可能であることを確認しました。千葉工場の数値検証ではスコープ1、スコープ2について正確に算出、集計されていることを確認しました。
- 4) 報告書の特徴
  - ・ JSR サステナビリティチャレンジにおいて、事業活動のポジティブ・ネガティブインパクトを事業部門ごとに検討し、ネガティブ面を含めて報告書に掲載していること、検討結果をSDGsの目標設定に生かしていることを評価します。

以上